

アレルギー対応について

お客様へ

アレルギー情報を確認する前に下記説明をご覧ください。

- 表示しているアレルギー物質は、日本の食品表示法により加工食品に表示が義務付けられている特定原材料7品目と、表示が推奨されている特定原材料21品目について表示しています。
- 表示している28品目以外のアレルギー情報は十分な情報を集めることが困難であるため表示しておりません。

- ① アレルギー情報は、原材料製造元からの情報に基づき作成しております。
- ② アレルギー表に記載されているマークの見方は下記のとおりです。

マークの見方

「●」 原材料として使用している。

「×」 原材料として使用していない。

「▲」 原材料の製造過程で共有・接触があるもの。

- ③ 店舗では、調理器具、食器、食材の保管場所は 共有しております。
また、ご提供のお食事は全て同一の調理場で調理をしており、食器の洗浄も共有のシンクで行っております。
そのため、意図せずアレルギー物質が混入する可能性があります。
- ④ アレルギー物質の感受性は個人差があります。
お召し上がりについては、お客様のご自身でご判断くださいますようお願い致します。

(ご心配の場合は、専門医に相談することをお勧めいたします。)
- ⑤ アレルギー情報は随時変更する可能性がありますので、その都度ご確認ください。

更新履歴 2023年5月25日
2023年7月1日
2023年9月15日

■コンタミネーション（微量混入）の可能性について

①食品の製造工程や原材料の漁獲時などで、意図せずアレルギー物質が混入してしまうことがあります。

②店舗では、調理器具、食器、食材の保管場所は共有しております。

また、ご提供するお食事は全て同一の調理場で調理をしており、食器の洗浄も共有のシンクで行っております。

そのため、意図せずアレルギー物質が混入する可能性があります。

アレルギー物質の感受性は個人差があります。ご飲食につきましては、上記内容をご確認の上、お客様ご自身にて、最終的なご判断をお願い致します。

マークの見方

「●」原材料として使用している。

「×」原材料として使用していない。

「▲」原材料の製造過程で共有・接触があるもの。

Table with columns for allergen categories (e.g., 小麦, そば, 卵) and specific items (e.g., ラーメン, サイドラーメン, ご飯物, 1品メニュー, トッピング). Each cell contains a symbol (●, ×, ▲) indicating allergen presence.

